

2025年3月25日

令和6年度学位記授与式学長告辞

九州工業大学長 三谷康範

学位を取得された皆さん、おめでとうございます。本日、令和6年度の学位記授与式を盛大に執り行うことができ、大変嬉しく思います。九州工業大学の教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。また、この日まで卒業生・修了生を物心両面から支えてこられました保護者、ご家族の皆様にも心からお祝いと感謝の気持ちをお伝えいたします。

学位記を手にされた皆さんは、研究に没頭した日々や、仲間と一緒に過ごしたかけがえのない時間を思い返されていることでしょうか。本日は、そんな皆さんを支えてくださったご家族、先輩、友人の力添えや、恩師の導きに改めて感謝する大切な機会でもあります。

さて、今、世界は激変の時代を迎えています。これまでの価値観をも大転換させるような様々な変化が起こり、国家元首の言動すら予測不可能となり、日本を含む世界各国が様々な困難に直面していることはご存知の通りかと思えます。一方で、予測可能な事象への対応は、生成AIの力を借りれば容易に処理手順の作成が可能です。この予測不可能な事象への対応力と判断力こそが人間に求められる社会的価値なのではないでしょうか？本学での多様性ある学びを通して技術力に加えて人間力が涵養され、様々な体験を通して成長し今日の日を迎えられた皆さんがこれからの社会で活躍することを期待しています。そして、皆さんの活躍を力にして九州工業大学も共に成長したいと考えております。

振り返れば、5年前に私たちを突然襲ったコロナ禍は、まさに予測不可能な状況へ人類の対応力が試された出来事でした。皆さんも不自由な生活を強いられる中で様々な新しい対応を迫られ、それらを乗り越えてきました。本学は建学から116年を迎えましたが、建学当時もまた、明治末期の激動の時代でした。世界の覇権主義の中で、日本の生き残りを賭けて立ち向かった先人の活躍があり、こうした混沌の中から様々な知恵と努力が生まれ、困難を克服する力が湧き起こってきた歴史があります。学問は、予測不可能な事象をできるだけ予測可能なものへと変換し、対応方法を見出す役割を果たします。しかし、予測が可能になるほど、予想外の事象が発生した際の衝撃は大きくなります。それを克服する力は、好奇心と、さまざまな体験や失敗からの学びによって培われるのです。

ここで、本日の学位記授与式を迎えるにあたり 1 月に嬉しい知らせが届きましたので、共有させてください。九州工業大学は文部科学省による「地域中核特色ある研究大学」として全国 25 大学の 1 つに選定されました。これは通称「J-PEAKS」と呼ばれ、日本国内に 25 の尖ったピーク、言い換えれば 25 の特色ある研究拠点が形成されることを意味します。本学は北部九州地域における研究拠点大学として世界に向けた様々なアクティビティを発信できる大学として認められました。このことは本日、九州工業大学を巣立つ皆さんを始め多くの先人の様々な活動の成果が実を結んだと言えると思います。これから私たちは、世の中に対して九工大技術の社会実装を通して強いインパクトを与えることによって、革新的技術の発出を続ける持続可能な状態を作り、このことを通して卒業後の皆さんとも繋がり続け、共に成長していくことを目指します。皆さんもこの 25 のピークの 1 つを卒業したことを誇りに社会の中で活躍し続けてください。そのことがさらに九州工業大学の存在意義を高めることにつながります。

最近、スポーツ界を中心に世界で活躍する日本の若者の姿が際立っています。そのような活躍が実現されるためには、世界の中で戦うことで世界を知り、自身の立ち位置を理解し、どういう戦略を立てて自分を磨くべきかを肌で感じるという環境が不可欠です。そのために本学で目指したのが在学中の海外経験です。多くの皆さんがその機会を得たことと思います。日常生活の中では、社会生活はほぼ予想可能です。しかしながら、未経験の海外に飛び出すと、予測不可能な出来事の連続となります。「メジャーリーガーに憧れるのをやめましょう」という名言を発した大谷翔平選手は、未知の環境の中で対等な立場で自身を位置付け、そこから戦略を立て、活躍の場を築いています。私たち科学者も、論文を通じて海外の著名な研究者の存在を知りますが、それだけでは憧れの存在で終わります。学会発表に参加し、その研究者と直に接し、その研究者のもとで研究を行う経験を得ることが、まさに憧れからの脱却につながり、自身を高めて世界と戦うことにつながります。すべての経験はその次の行動につながるのです。

これから皆さんは、環境問題、資源・エネルギー問題、さらには国際紛争・分断や、国際政治情勢など数々の極めて難しい制約条件が課された中での社会活動を行うこととなります。まさに予測不可能な事象の連続ですが、本学で培った確かな技術力、倫理観、そして大学生活で築いた世界中の人々との絆、そして、グローバルコンピテンシーに裏打ちされた皆さんの若い力と行動力・突破力が遺憾無く発揮され、それが世界を平穏な状態に戻す力強い復元力として作用し、世界の平和と繁栄の原動力になることを願っています。

これから社会に巣立っていく皆さんにおいては、本学で培った能力を存分に発揮し、様々な困難を乗り越えていくことを確信していますが、色々な場面で壁にぶつかった時は是非、母校を頼ってください。本学では学び直しの仕組みを作り、卒業後の皆さんを支える体制を整えてお待ちしております。キャンパスでは、若者に加えて、学び直しの社会人も集い、年齢、ジェンダー、国籍、民族などの多様な属性を持った人々が交わることで、イノベーションが湧き起こる場が形成されることを目指しております。

最後になりますが、皆さんが、九州工業大学における多くの良き出会いを財産として、この変化に富んだ時代の中で、生活を楽しみ、多くの事を感じ、考え、学び続け、活躍されますことを祈念し、皆さんの栄えある門出を心から祝福申し上げ、告辞といたします。

本日は、誠におめでとうございます。